



令和8年度
学校だより
6月号

Shin
OGURA

新しい自分をつくる
未来をつくる

令和8年5月28日

つながりの中で育つ

朝、子どもたちを迎えながら正門脇に目をやると、青や紫の紫陽花（あじさい）が少しずつ色づき始め、雨の季節の訪れを教えてくれています。雨の日は少し憂鬱に感じることもありますが、紫陽花にとっては恵みの雨です。じっと雨に耐えながら日に日に鮮やかさを増していくその姿は、学校や家庭で見守られながらじっくりと土台を固め、自分らしい「色」を咲かせようとしている子どもたちの姿にも重なります。

■ 個人面談へのご協力、ありがとうございました

先日の個人面談にお忙しい中お越しいただきありがとうございました。限られた時間ではありましたが、保護者の皆様から家庭での様子や、お子さんへの思いを直接伺うことができ、大変有意義な時間となりました。面談を通して共有できたお子さんの強みや課題は、担任をはじめ教職員一同、今後の指導にしっかりと生かしてまいります。これからも学校と家庭が同じ方向を向き、手を携えながら子どもたちの成長を支えていければと考えております。なお、本校には3名の支援教育コーディネーター（岩本教諭、米村教諭、若井養護教諭）がおります。「子どもについて、誰に相談したらよいかわからない」というような心配事や、ちょっとした不安がある場合など、何か気になることがありましたら、いつでもお気軽に学校までご相談ください。コーディネーター宛てに直接お電話をいただいても大丈夫です。

■ 街の壁面が美術館に！「こどもギャラリー」がスタートします

現在、学校周辺ではマンションの建設工事が進んでいますが、この度、施工会社のご厚意により、工事用の仮囲いフェンスに「川崎市立新小倉小学校 こどもギャラリー」が誕生することになりました。このギャラリーには、子どもたちが図工の授業などで一生懸命に描いた作品を、学年ごとに順番に掲示していく予定です。大切なお子さんの作品ですので、お名前は掲載いたしません。どの児童の作品も均等な期間、街行く方々に見ていただけるよう計画しています。子どもたちの瑞々しい感性が工事中の白い壁面を鮮やかに彩り、地域に元気を届けてくれるのが今からとても楽しみです。お近くを通る際は、ぜひ足を止めてご覧ください。

■ 世界へ開く窓 — 中南米教育省・Google社による学校視察

これまで本校には、国内の様々な地域や教育委員会、文部科学省などから多くの視察がありましたが、6月2日（火）の午前中、今度は大きな国際視察団をお迎えすることになりました。ブラジルやメキシコ、チリなどの中南米諸国の教育省要人や、Google社のメンバーら約30名が、新小倉小学校の一人一台端末（GIGAスクール構想）の活用方法を視察されます。デジタルを活用した学びが進んでいる川崎市の代表として、本校が選ばれました。当日は各学年の授業を参観し、子どもたちが主体的に端末を使いこなして学びを進める姿を見ていただく予定です。世界から注目される学校にいるという誇りが、子どもたちの次なる自信へと繋がることを願っています。

家庭で温かく見守られる安心感。地域の方々の温かい眼差しに包まれる喜び。そして、世界へと視野を広げる刺激。子どもたちは今、こうしたたくさんの「つながり」の真ん中で、日々豊かな栄養を吸収しながら育っています。紫陽花がたくさんの小さな花を寄せ合って、ひとつの美しい大輪を咲かせるように、新小倉の子どもたちもまた、多様な人々との関わりの中で、自分だけの素敵な色を育てていくのだと思います。これから梅雨に入り、体調管理が難しい時期になりますが、雨の日だからこそできる落ち着いた学びや、心の交流を大切に、今月も周囲の皆様とのつながりをエネルギーに変えながら、一步一步進んでまいります。